



関西から世界へ

JIPA 全国大会 2025

in 関西 7.12土・13日



7月12日(土)

総会・理事会

グランフロント大阪 北館7階 ナレッジサロン会議室

13:00 受付開始

13:30 総会・理事会

15:00 終了

全国大会・記念講演・交流会

ホテル阪急レスパイア大阪 9階宴会場

14:30 受付開始

15:30 全国大会 JIPA会長挨拶
ご来賓挨拶

16:00 記念講演

三宅正弘 武庫川女子大学教

「阪神間モダニズムから美食空間学」

JIPA副会長閉会の挨拶

18:00 交流会

JIPA会長挨拶

JIPA委員会報告

JIPAK会長乾杯の挨拶

ジブシージャズライブ

地域協会プレゼンテーション

JIPA副会長閉会の挨拶

7月13日(日)

見学会

①大阪・関西万博コース

先着10名まで、7月13日午前10時の
入場チケットを実費(7500円/枚)
にて受け渡します。

その他の方は、各自にてチケット手配
お願いします。

②大阪コース

グラン グリーン大阪 さんぽ
安藤忠雄展 青春

③神戸コース

神戸を満喫！貸切バス周遊コ ース
「神戸の海へ」 昼食付



JIPA全国大会記念講演 阪神間モダニズムから美食空間学

三宅 正弘 武庫川女子大学教授

2025年7月12日(土)16:00-17:30講演

・場所 ホテル阪急レスパイア大阪 9階

阪神間モダニズムを象徴する甲子園ホテルは美食ホテルでした。建築の中心には厨房が立地します。建物正面の日当たりのよい厨房です。

設計者の遠藤新も、食堂にしてもよいような空間と書いていたと思います。その厨房の東側にはメインダイニング、西側にはバンケットホールがあり、それらを厨房が結んでいます。メインダイニングの入り口近くには、メインバーもあります。この導線の流れは、アペリティフから食事に向かう、料理の時間の流れと対応していました。私はこの空間から、美食空間ということに興味をもちました。その空間とは、建築だけでなく、お皿という空間、次にテーブル、そして建築、さらに風景というように4段階で考えています。講演では阪神間モダニズムとともに、食の空間の重層性について話したいと思います。

三宅 正弘教授の紹介

1969年、兵庫県芦屋市生まれ。専門は都市計画・美食空間学。大阪大学大学院博士課程修了。工学博士。フランス人文科学研究所(パリ)受入れ教授などを経て現職。専門はまちづくり、美食空間学、多文化共創。2021、22、23、24年度の兵庫県国際局・多文化共生ネットワーク会議のコーディネーターを務める。近年は阪神間・大阪で海や川のクルーズコース開拓と解説に取り組む。著書に「神戸とお好み焼き まちづくりと比較都市論の視点から」(神戸新聞出版センター)、「石の街並みと地域デザイナー-地域資源の再発見」(学芸出版社)、「甲子園ホテル物語-西の帝国ホテルとフランク・ロイド・ライト」(東方出版)など。

連絡先 一般社団法人日本インテリアプランナー協会 関西 (JIPAK)

所在地：大阪市中心区安土町1-7-13 トヤマビル本館9階

T E L ; 06-6266-5735 FAX:06-6266-5745

E-mail : jinfo@jipak.or.jp / <https://jipak.or.jp/>